おうちの方へお子さんといっしょによみましょう。



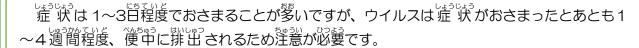
南風原町立翔南小学校 保健室

令和3年12月21日発行

かんせんせい いちょうえん りゅうこう きせっ 感染性胃腸炎が流行する季節です!

** しょうじょう ★主な 症 状 は?

吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、37度台の発熱、嘔吐や下痢に伴う脱水症状。



★どんなふうに<mark>感染</mark>するの?

①ウイルスのついた手を介して懲斃する。







★どうやったら防げるの?

若けんでの手続いが背鏡です。(※ノロウイルスにはアルコール消毒は効きません) 特に、トイレのあと、後輩の齢にはしっかり手続いをして清潔なハンカチで氷労をふきとりましょう。

☆ネ☆ネ☆ネ☆ おうちの方へのおねがい ☆ネ☆ネ☆ネ☆

感染性胃腸炎の流行を防止するために、以下のことにご協力お願いします。

- ①登校前の家庭での健康観察を引き続きお願いします。 下痢や腹痛、吐き気、嘔吐などがある場合には、無理をさせずお休みさせてください。
- ②感染性胃腸炎を疑う症状がみられる場合には、早めの受診をお願いします。
- ③ご家族の方を含めて、医療機関で感染性胃腸炎と診断された場合には、学校へお知らせください。
- ④学校で嘔吐や下痢をされた場合は、感染性胃腸炎(ノロウイルス等)の可能性を考えて対応します。二次感染の可能性を原因になることがあるので、お子様の衣服は、処理をせずそのまま袋に入れてお返しします。ご理解とご協力をお願いします。



●冬休みは治療のチャンス!●

1 学期の歯科検診や視力検査で、病院受診をするよう言われた人は冬休みのうちに受診するようにしましょう。歯科検診や視力検査の結果がわからない場合は、保健室までお問い合わせください。

むし歯の治療率

33.3%

(12/20 現在)



こまめに手洗い

おうちの方へ お子さんといっしょによみましょう。

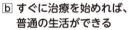


世界エイズデー

12月1日は世界エイズデーでした。全児童・職員でレッドリボン運動を行い、保健 委員会が校内放送で世界エイズデーについて発表しました。ぜひ、このおたよりを機に エイズのことや性教育についてお子さんと話してみてはいかがでしょうか?

● HIV に感染したらどうなるの?

a 治療法がないので エイズを発症して死に至る





IV の増殖をコントロールでき、他の

人への感染リスクも低下します。

エイズはHIVに感染して発症します ヒト免疫不全ウイルス

HIV に感染するのは。

d つり革



- a トイレの便座
 - b お風呂 e 手すり

翆介ズのこと、ちゃんと知ってる?

- c プール ff 採血や献血
- - どれも感染しません。HIVの感染力 はとても弱く性行為以外の生活の中で 感染することは、まずありません。

令和 3 年度 「世界エイズデー」キャンペーンテー

レッドリボン30周年 ~ Think Together Again ~

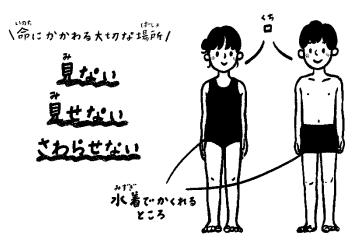
エイズが世界的な問題になりつつあった 30年前。ニューヨークの芸術家たちが、エ イズで亡くなった仲間への追悼と、エイズに 苦しむ人たちへの理解・支援の意思を表明す るために運動を始めました。そのときのシン ボルが「レッドリボン」です。

30年の間に治療法は進歩し、早期開始す ればHIVに感染していない人と同等の生活 を期待できるようにな

りました。けれど現状はそうした正確な情報 が十分に伝わっているとは言えません。

レッドリボンに宿る意味を原点に立ち返っ て考え、HIV検査の受検促進や差別・偏見 の解消を願うのが、このキャンペーンテーマ。 「レッドリボン」に込められた思いは今も変 わりません。

0



スライベートソーン(水着でかくれている場所)

◉犬にみせたり、麓らせたりしてはいけない じぶん からだ じょぶんだけのもの

ちゃんとまもるべき大切な場所。勝手に見られたり、触ら れたりすることには強く「やめて!」と言っていいよ。たと え「仲良しだから」「好きな人だから」「家族だから」だとし ても、ゆるされることではありません。男の子同士、女 の子同士でもおなじだよ。

保護者の方へ

子どもたちを被害者にも加害者にもしないために

本人に「性的いじめ」の自覚がなくても、たとえ遊びのつもりであったとしても、性や性器が人にとって、人権そのもので大事にしなけれ ばならないものです。性的いじめは、相手に深刻な心の傷を与えます。被害者、加害者にならないためにも、性教育は重要です。正しい 性知識は「放っておいても自然と身につくもの」というものではありません。大人が「性的いじめ」について十分理解したうえで一生懸命伝え ようとすれば、子どもは分かってくれるのではないでしょうか。一人ひとりがくり返し学び、性的いじめに対して「やめて!」と言えたり、相談 したり、また人を傷つける行動や言葉を使わない力を身につけられるようになってほしいと思います。